

えりも町議会

議会だより

令和2年8月1日

No.34

7月10日解禁となった近笛地区の昆布漁。4日目となった16日午前4時40分、開始を告げるサイレンが鳴り響くと、一斉にかぎ竿を入れる。比較的穏やかな海だが、時折波打ち際には波が折る。沖から寄せる波がどの程度ならば安全か、細心の注意を払いながら一瞬で判断しなければならない。

経験がものをいうが、たまに想像した以上の大波が来るため、慢心は許されない。約3時間、苦勞して採取した昆布も、この日は終日太陽が顔を出さず、十分な乾燥は翌日に持ち越しとなって、漁業者の表情も曇りがちで疲労の色が濃い。



P2 令和2年度6月定例会

補正予算・条例改正 ほか

P3~7 一般質問

一般質問 5名 9件

P7 臨時会 (5・7月)

近浦団地公営住宅新築工事・学校プール新築工事
除雪ドーザ購入事業・補正予算 ほか

P8 所管事務調査報告

公営住宅長寿命化計画・東部浄水場ろ過池改修工事

P9 4・5月全員協議会

4月全員協議会 新型コロナウイルス感染症対策
5月全員協議会 高齢者センターの改修

P10 「この人に聞く」

日高南部森林管理署 えりも治山事業所
治山技術官 島下 靖博 さん



えりも町議会第2回定例会

補正予算

◎令和元年度

一般会計(歳出)

・財政調整基金積立金

6500万円

ふるさと納税寄付金の一部を積立

特別会計(歳出)

・診療所一般管理費手数料

513万6000円

民間業者への医師の紹介手数料

◎令和2年度

一般会計(歳出)

・総務管理費消耗品費

126万1000円

各避難所へ感染症予防の消毒液とマスクの購入

・総務管理費機械器具費

186万8000円

各避難所へ飛沫感染防止用簡易ベッドの購入

・東洋テレビ共同受信施設
改修事業補助金
324万5000円

・保健衛生費消耗品費

519万9000円

感染症予防のために学校を除く各公共施設の消毒液とマスクの購入

・保健衛生費手数料等

53万2000円

感染症予防のための新聞折込費用等

・保健衛生費機械器具費

63万3000円

感染症予防のための図書返却除菌ボックス購入

・商工振興費業務委託

100万円

えりも町をPRする動画の撮影費用

・商工振興費機械器具費

224万2000円

えりも町をPRする動画の撮影機材を購入

・除雪機械購入

2400万円

目黒地区の除雪用ドーザの購入

・公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業設計委託

1000万円

小中高校に通信ネットワーク環境を整備

・教育費機械器具費

2903万円

小学校
中学校
タブレットの購入

・小学校費修繕料

367万5000円

条例改正

えりも町国民健康

保険税条例の改正

①課税限度額の改正

医療給付費分

61万円↓63万円

介護納付金

16万円↓17万円

②軽減判定所得の改正

軽減判定所得を左記のように引き上げることにより、低所得層の負担を軽減する。

5割軽減世帯
1人当たり5千円引上げ

2割軽減世帯
1人当たり1万円引上げ

③税制の改正

資産割の割合をこれまでの1/2とする。

人事

・人権擁護委員の推薦

えりも町字大和

鍵谷 俊一(71歳) 再任

・えりも町教育委員の選任

えりも町字大和

田名部光一(48歳) 再任

・えりも町農業委員の選任

東洋 藤井 隆宏

東洋 神田 隆人

歌別 佐々木克也

笛舞 能登 浩

大和 石川 昭彦

大和 沼館 信夫

歌別 寺井 文秀

東洋 高橋 祐之

本町 中村 幸子

※現委員の任期満了によるもの

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

津波対策と避難所は

計画内容の点検見直しを進めている



中野公浩議員

問 中野 議員

4月公表の巨大地震発生時の津波高は、えりも町で「千島海溝モデル」で最大27・9メートル、「日本海溝モデル」で23メートルと道内で最大の予想である。町の防災計画や

問 答

答 企画課長

ハザードマップの見直し等の対策が必要だが、次の点について伺う。
① 歌別生活館の標高は7・6メートルで、津波時は避難所にならない。他地区も同様なので見直しては。
② 中央保育所の保育士が、園児を連れて裏山を登っても、避難所が無いのでは。

① 歌別生活館ほか、ほとんどの収容施設が現在のハザードマップで、津波浸水域に立地している。津波の際は避難所にできない可能性が高いが、他の災害の場合は避難所にできることから、収容施設として指定している。現在、地域防災



標高7.7mの中央保育所

計画の更新のため、計画内容の点検や見直し作業を始めている。
② 中央保育所の避難計画では、スクールバス等の運行時は、えりも高校又は清掃センターへ避難し、バスが運行できない場合は、清掃センターへ徒歩で避難する計画である。避難路を上った場所に避難所が無いことについては、現在、上った場所の近くにある昆布小屋を一時避難所として使用させてもらうよう協議を進めている。

問 中野議員

問 大学生とひとり親家庭に支援を

答 現在は考えていない

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、えりも町出身の学生（大学生等）は、アルバイトや仕送りの減少で困窮していると聞くと、感染症の影響を受け退学することがあつてはならない。
① 国は、困窮した大学生等に現金10万円を給付する

答 学校教育課長

が、町も同程度を給付しては。
② 町の奨学金制度を再周知しては。
③ ひとり親家庭は、3か月の休校措置で仕事に行けず、収入も減少し、大変な思いをしている。
町は、国と同程度度の支援をする考えはないか。

① 現段階では町独自の給付は考えていない。
② 町では高校、大学等の在学者で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学資金の貸与事業を行っており、年平均2名程度の申請がある。今後は、学校を通じた周知だけでなく、広く町民に知ってもらうため町広報紙などを活

用し周知する。
③ 町独自として保育所の自粛要請や学校の臨時休校等により在宅を余儀なくされている子どもたちの生活支援のため、えりも町子ども生活応援券事業を実施した。



町独自支援策としての子育て応援券を発行



大坂庄吉議員

学校の働き方改革の推進を

課題解決には時間を要する

問 大坂庄吉議員

昨年、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の改正で、教育職員の時間外勤務を月45時間、年360時間以内とする従来のガイドラインが法的根

拠のある「指針」に格上げとなったが、

① ICTの活用やタイムカードの導入など、教職員の勤務状況を客観的に把握するための取り組みは。

② 国の「指針」を参考に、学校管理規則に時間外勤務の上限を明記する準備は進んでいるか。

③ 特に中学・高校では、部活動が長時間勤務の大きな要因となっているが、担当教師の負担軽減策や大会を含めた部活動のあり方は。

答 教育長

① えりも小・中学校には、校務支援のための情報共有ソフトを、笛舞など4校には、本年度タイムカードを導入した。

② 本年3月、上限の明記について学校管理規則の改正を終了した。

③ 中学校の部活動では、活動時間の短縮、休養日の設定、複数顧

問体制とすることで負担軽減を図っている。

近年は大会数が増加しており、個人的には大会の精選や参加の吟味・選択が必要となってくるかと考える。

部活動のあり方については、学校教育の大きな課題として協議され、平成10年頃にはスポーツ少年団のような地域青少年活動として推進することとなった。しかし、人材の確保など難しい面があり、課題解決には極めて時間を要すると考える。



外部指導者の確保が難しく、教師の負担も大きい部活動

旧しやくなげ公園の整備は

再整備は考えていない

問 大坂庄吉議員

旧しやくなげ公園は現在、「ふれあいの森公園」として利用され、園内は6月に入ってからツツジが満開となり、憩いの場としては最適な時期を迎えている。しかし、入り口付近

は一部草刈りがされているが、旧日本庭園内は以前の面影はなく、橋はバラバラに壊れ落ちて、奥地は荒れ果てた状態になっている。

以前、森林組合と協議をして改善を図りたいとのことであったが、どのような協議をし、どう改善されたのか。

答 産業振興課長

園内の樹木の管理、草刈り、清掃等は、ひだか南森林組合に委託しており、ドッグランの利用者は多少いるが、園内を散策する方はほぼ皆無であると聞いている。

森林組合と協議し、ツツジの群生地周りと園内奥へ進む道路周辺の整備を行うこととした。

今後、大規模な改修は町が行う必要があるが、現在の利用状況や費用対効果を考えても再整備は難しい。

再質問

「公園」の名がついている以上、町民が来園できる環境に整備してほしい。

答 町長

以前のような公園に戻すことは現状を考えると正直難しい。

今すぐには難しいが、老朽化したフェンスの取替工事などの安全対策を施したうえで、町民が少しの時間でもくつろげるような公園にするためにどうしたらよいか検討したい。



以前の面影もなく、訪れる人もほぼ皆無の旧しやくなげ公園

自治会機能の低下への対応は

問

答

地区担当職員の派遣は難しい



橋本維応議員

橋本 議員

少子高齢化で自治会機能の低下が懸念されているが、次の3点について伺う。
①住民が少ない自治会に町職員を派遣し、地区担当員として活動に協力しては。

答 企画課長

②各自治会には、災害時の対応等協力をお願いすることも多いため、助成金を増額しては。
③災害時、避難場所となる生活館等に、WiFi等の通信機器を設置しては。

①道内でも地区担当職員制度を実施する自治体もあるが、派遣された担当職員が地域と役場との間で板挟みとなる場合もある。
最近では、世代交代する自治会も増え、職員も役員を務めたり、活動へ参加することもあるので、すぐに地区担当の職員を派遣することとは、考えていない。
しかし、今後ますます人口減少が考えられるので、各自治会でも合併等、自治会の在り方を検討される時は、町も一緒に協議していきたい。

②自治会への助成は、自治会活動振興交付金約55万円と防犯灯・街路灯の電気料金の助成金約275万円で、合わせて今年度予算は約330万円である。
町は各自治会に対し、自主防災組織の結成を依頼しており、結成された場合は法律により自治体が必要な援助を行うことになっている。
また、支援は他の自治体の状況などを参考に検討したい。
③WiFiの整備は、プロバイダーの契約料等が必要となり、接続端末数で変わるが、毎月の電話料が3〜4倍程度になる。
ほとんどの生活館等は、津波浸水域に立地という状況もあり、WiFi等通信機器整備の必要性は、十分認識している。
今後の地域防災計画を進める中で、避難場所の見直しとともに、WiFi等の整備に

についても検討していきたい。



花壇整備に精を出すあけぼの自治会員。一方、会員数の減少で機能低下が懸念される自治会も多い

町内の水資源の有効活用・保全是

水源は道有林のため保全される

問 橋本 議員

当町は、水資源が豊富なため、この資源を有効活用出来ないか。
また、水資源、森林の保全是、当町の財産でありこの資源を今後も守り維持していく観点から次の点を伺う。

①道内には、ミネラルウォーターに地名をつけ販売している自治体もあるが、えりもの水と同じように販売できないか。

災害時の備蓄品として活用できないか。
②海外資本による水源林等の土地取得がいくつかの自治体で見受けられる。

当町ではそのような事例がないか。
また、それら海外資本より先に、水源周辺の土地の取得・保全を行ってはどうか。

北海道では、水資源の保全に関する条例を定め、土地取引に対する規制を行っているが、

町独自で条例の制定を検討しては。

答 企画課長

①各地名が付けられたミネラルウォーターが数多くあり、道内では京極町等が有名で、ほとんどは自治体の商品ではなく、民間事業者がボトリングして販売している。
当町の水源の山は、道有林でそこに工場を作ってボトリングはできない。

近隣では苫小牧の事業者が「支笏湖のミネラルウォーター」を販売したが、競争による採算性の低下等のため4年前に撤退している。

災害時備蓄品はコストが高く考えていない。
②町内の水源は、すべて道有林で、海外資本による土地の取得はこれまでにない。今後も、

水源涵養の保安林として保全が図られていくと考える。



高松亮裕議員

問 庶野小保護者にも給食費半額相当の補助を

答 早い段階で実現したい

問 高松 議員

えりも町は平成30年度から、町内4小学校と中学校の給食費半額補助を実施してきた。しかし、給食未実施の庶野小学校では、牛乳代は全額補助されているものの、他地域に

比べ子どもの弁当にかかる経費がかさんでいる。

平等・公平性の観点から、庶野小保護者に対し給食費半額相当の補助をすべきではないか。

さらに、地域によって給食費にばらつきがあり、「半額補助」ではなく、「一定の額を超える分を補助」とすれば、より公平性が高まると思うが。

答 教育長

給食費半額補助に対し当初、庶野小学校の対応についても協議した。

最終的には「負担という意味で、明確に給食費として金額が示されるものについて検討できるが、弁当の場合、金額が見通せないことなどから、牛乳の分を全額補助とする」とした。給食費補助が2年を

問 「空き家等対策計画」の策定を

答 策定の準備を進める

問 高松 議員

経過したことや庶野小完全給食が実現していない点を踏まえ、補助に向けて検討したい。

補助の方法は、
①現状のまま

②議員提案の「一定の額を超える分を補助」

③上限を決め一律補助の3案の検討を深め、早い段階で補助を実現したい。

の策定を

り壊すことができること、特定空き家に指定されると、土地の固定資産税が6倍になることなどの情報を空き家所有者に提供しているか。

③売却価格の相場、解体業者の紹介、解体費用の見積り、特定空き家に指定されないための管理の方法等、所有者のための相談窓口を設けているか。

④空き家の外観や間取り、売却金額等の情報を提供し、空き家の利活用を促進するため「えりも町空き家情報登録制度」を充実させては。

⑤空き家解消のため何らかの支援は。
⑥「空き家等対策計画」の速やかな策定は。

答 町民生活課長

①空き家情報登録では平成27年から15件で、10戸の危険な家屋を把握している。



給食が実施されているえりも小。この日のメニューはハヤシライス



町の景観を悪化させる空き家



上野陽司議員

問 学校再開の対応は

答 意欲的に学ぶことができよう

問 上野 議員

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一斉休校中だった小中高校が6月1日から再開した。学習の遅れを取り戻すため、「1日7時間授業」や「夏・冬休みに合計20日間程度の登校日を設ける」と報道されているが、

①各学校の対応は。
②通常であれば夏休みの期間に登校する場

合の暑さ対策は。

③子どもと教員への負担は。

④部活動に励んできた子どもたちは大会などがなくなり、大きな悲しみを覚えたことと思うが、心のケアは。

⑤管内の学校などと大会を実施する考えは。
⑥感染症拡大が再燃した場合の休校基準は。

答 教育長

①夏季休業は、小中学校で7月31日から8月17日までの18日間とし、休業前に7、8日間の授業を実施。

えりも高校は、8月1日から8月16日まで16日間とし、休業前に9日間の授業を実施。

冬季休業は、今のところ、小中学校で12月26日から翌年1月14日までの20日間、えりも高校で12月26日から翌年1月13日までの19日間とし、それぞれ休業前に4日間の授業を

施する予定である。

②窓の換気によって十分対応できており、気温が上昇した場合は、教室移動を含めて換気の配慮をしていく。

③授業は、教師主導でスピードを上げたりせず、無理なく余裕をもって意欲的に学ぶことができるよう指導。

教員については、分散登校期間中に教材研究や授業準備をするなど、負担は少ないものと考えている。

④アンケートや教育相談、気になる児童生徒には個別面談、中学校においてはミーティングや部活動への目的意識を再確認して練習などに励むよう、指導に心がけている。

⑤7月から9月をめぐりに練習試合や大会を管内で統一する形で実施するよう検討。

⑥国や道の宣言に基づき道教委からの学校休業要請などを踏まえ、今後も同様に対応する。

えりも町議会 臨時会 (5・7月)

5月臨時会補正予算

別給付金の不足分

◎令和2年度 一般会計(歳出)

・環境衛生費

673万円

・水産業振興費

1300万円

・農産振興費

900万円

・水産業振興費

2100万円

・農産振興費

2100万円

・水産業振興費

4891万7000円

・農産振興費

3300万円

・農産振興費

87万5000円

・農産振興費

1694万円

7月臨時会補正予算

・農産振興費

◎令和2年度 一般会計(歳出)

224万6000円

・農産振興費

200万円

・農産振興費

200万円

新型コロナウイルス感染症対策として、検温や診察を行うための仮設ハウス2棟を診療所敷地内に設置

工事請負契約
物品売買契約

・近浦団地公営住宅 新築工事

5038万円

橋本・川崎 JV

・(仮称)えりも町 学校プール新築工事

4億5540万円

荒井・ヤマト JV

・除雪ドーザ購入

1694万円

コマツカスターマー

サポート(株)

※予定価格5000万円以上の工事又は製造の請負契約、予定価格2000万円以上の不動産や動産の取得又は処分は、議会の議決を得なければならないという条例に基づき審議

所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 成田一人
 副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維広
 神田 修 上野陽司
 産業民生常任委員会 委員長 高松亮裕
 副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉
 竹内孝文 中野公浩
 議長 石川昭彦

調査日 令和2年5月29日(金)

公営住宅長寿命化計画及び空き状況について

本計画は、厳しさが増す財政状況下において、更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅の効率的かつ円滑な更新を実現するため、公営住宅の長寿命化を図り、建設から修繕、解体に至るまでの生涯費用(ライフサイクルコスト)の縮減につなげていくことを目的に作成されている。

計画については、えりも町総合計画を踏まえながら、町内の公営住宅の役割や状況を把握し、建替え並びにストックの活用と今後の公営住宅の展開方針を定めたもので、平成22年度の策定から見直しを経て、現在では平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間としている。

管理戸数については計画当初の242戸から用途廃止や建替えを進め、最終的には212戸となる予定。

住宅の整備水準については、省エネルギーに対応した高断熱仕様、これまでより一回り余裕のある住戸規模、高齢化に対応したバリアフリーなど、良好な住宅・住環境の整備が計画され、屋根の葺替えや外壁塗装などの修繕も計画通りに進められている。

現在の入居戸数は管理戸数216戸に対して198戸、空き戸数は建替計画により意図的に募集を停止している空き家7戸を除くと11戸であった。

本年度は、計画策定から5年を経過したため、見直しを行っていく予定であると説明を受けたが、見直しに当たっては、空き家が発生している状況を鑑み、人口推計を十分参考にしたうえで、適切な管理戸数を導き出してほしい。

なお、公営住宅の修繕対応であるが、居住者から雨漏り等の通報を受けてから修繕を行っているケースがあると説明を受けたが、修繕完了まで時間がかかり、居住者に多大な迷惑をかける場合もある。

修繕箇所を早期に発見することで、修繕経費を軽微に抑えられることもあるので民間委託も視野に入れながら定期的に点検を行うことも検討してみてはどうか。

また、現在、近浦公営住宅の建替工事中であるが、工事に当たっては、事故のないように十分に注意を願いたい。



解体中の近浦団地公営住宅を視察

東部浄水場ろ過池改修工事について

本事業は、東部浄水場ろ過池の浄水能力を維持していくため、平成29年度から継続して行っている事業である。工事は、ろ過池よりろ過用の砂と砂利を搬出し、内部に防水モルタルを塗布したのちに、新たな砂と洗浄した砂利を搬入するもので、本年をもって本施設のろ過池改修工事はすべて終わる予定である。

施設は昭和48年に建設されたものなので、施設全体の構造が古く、工事に際しても重機が内部に入らないため人力中心の作業となるなど苦勞した跡が伺い知れる。

今後も町民に日々安全な水を提供するため、細心の注意を払いながら点検を行って施設の維持に努め、一日でも長く使えるようにしてほしい。

また、全国で水道管の老朽化問題が取り沙汰されているが、当町においても整備してからかなりの年月が経過しているものがあるかと思う。一旦漏水すると、町民の生活に多大な影響を与えてしまうので、そのような事態を防ぐためにも計画的な更新を進めてほしい。



当町の大事なライフラインである東部浄水場を視察

4・5月 全員協議会

新型コロナウイルス感染症対策 4月25日

2月25日、国が「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を決定したことを受け、えりも町は対策会議を立ち上げ、今後の方針を決定した。

その内容について町議会と協議した。

- ①公共施設の臨時休館等の対応
- ②町が主催する会議やイベント等の対応
- ③町民への広報
- ④マスクの無料配布
- ⑤今後の行事等の中止・延期について

〈議会として町への要望書を提出〉

上記の説明を受け、町議会として次の4点について町への要望書を提出した。

- ①プレミアム付き商品券のプレミアム率を引き上げ、使用期間を長くすること。
- ②特別定額給付金の申請を早期に開始し、一刻も早く町民に給付すること。
- ③新型コロナウイルスの影響を受けている商工業者の状況を常に把握し、支援策を講じること。
- ④えりも町国民健康保険診療所の院内感染防止対策をさらに徹底して行うこと。



大西町長へ要望書を提出する石川議長と大坂副議長

高齢者センターの改修：5月27日

昨年12月の全員協議会において、改修内容及び改修費用が3500万円と説明したが、議会からの指摘を受け、専門家に調査をしてもらった結果、外壁、内装に新たな改修箇所が見つかったため、改修費用を500万円増の4000万円に変更し、6月議会に関連予算を提案したい旨、町から説明があった。

〈議員からの意見〉

- ・バス運行や人件費等の年間維持費が約1500万円かかっている。このまま4000万円で改修し継続するのが良いのか、思い切って廃止し、様似町アポイ山荘を利用する方法もある。年間利用者は延べ1万1000人ほどいるが、その方々の入浴料を町で負担しても550万円程度で済む。
- ・6月議会への提案は期間が短い。もう少し検討する期間があっても良いのでは。
- ・集約化という面で本町地区か歌別地区に建設しては。
- ・津波対策上、避難所の近くに建設しては。
- ・水産の館を風呂にする考えは。

〈町からの意見〉

- ・利用者が1万人以上いることから、町内の方が集える場、高齢者が集まって会話を楽しむ場の確保という意味で、維持補修できるうちは、なるべくそういう場を無くしたくない。
 - ・今回を最後の改修とし、今後については、再度様々な検討をしていかなければならないと考えている。
 - ・いま、新たに建設する考えはない。
 - ・水産の館を風呂にする考えはない。
- ※6月議会への提案は、後日、町との話し合いで延期されました。

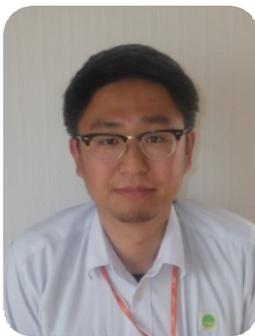
高齢者センターの改修につき様々な意見が



この人に聞く

日高南部森林管理署
えりも治山事業所
治山技術官
しました やすひろ

島下 靖博さん(34歳)



Q 出身地と、この仕事を
選んだ理由を教えてください。

A 出身は江別です。父が
転勤族のため、小学校は旭
川、中・高校は江別です。

造園・園芸が好きで、札
幌の専門学校へ行き、園芸
を専攻しましたが、森林管
理局の公務員試験が必須科
目であったため受験、色々
検討した結果、この仕事を
選びました。

Q えりもの第一印象は。
A 前任地の遠軽町から赴
任する際の黄金道路の景色
オホーツクには無い景色で、
海岸線が本当に綺麗で断崖
絶壁も新鮮で感動しました。

議会の動き

5月27日	全員協議会 第1回臨時会
5月29日	二常任委員会合同 所管事務調査
6月12日	議会運営委員会
6月19日	全員協議会 第2回定例会 広報広聴常任委員会
7月10日	広報広聴常任委員会
7月15日	全員協議会 第3回臨時会
7月16日	軽種馬議員連盟役員会
7月17日	広報広聴常任委員会

Q えりもの感想は。
A とにかく風が強い。赴
任してすぐに「えりもは風
が強いですね」と言ったら
「こんなもんでねえー」と
言われ、この先が心配にな
りました(笑)。
Q 趣味や好物は。
A 食べ歩きとドライブで
す。えりものツブは最高で
す。実家に帰った時にお土
産に持って行ったんですが、
「また持ってきて」と言わ
れました(笑)。短角牛も
食べてみたいです。
Q えりも在任中にやって

みたいことは。
A ドローンが配備されて
いるので、それを使って国
有林全体を撮影し、一枚の
写真にしたい。また、その
写真を使って何かしらの資
料として活用できればと思っ
ています。
Q えりも町民に一言
A これから植樹祭等、色々
な場面においてお世話にな
ると思いますので、よろし
くお願いします。
お忙しい中、取材に
応じて頂きありがとうございます。
これからのご活躍に
期待いたします。
(取材・竹内)

くお願いします。



えりも岬先端より百人浜
方面をドローンで撮影
(島下氏撮影)

新型コロナウイルス感染症対策によって 中止になった主な行事

- 5月17日 えりも町消防訓練大会
- 7月2日 全道議員研修(札幌)
- 8月14日 海上安全祈願祭(灯台まつり)
- 8月25日 議会広報研修会(札幌)

編集後記

新型コロナウイルス感染症
に係る「緊急事態宣言」解除
後、全国的に感染が再び拡
大傾向にあります。

8月の「灯台まつり」に続
き、10月の「海と山の幸フェ
スティバル」も早々と中止と
なりましたが、各家庭では
お盆の帰省について、各自
治会では9月の秋祭りをど
うするか思案をめぐらせて
いることと思います。

こうした中、当町の一大
産業である昆布漁が解禁と
なりましたが、他の産業に
比べ比較的影響が少ない業
種に思われ、一安心してお
ります。

しばらくは辛抱の期間が
続きますが、まずは感染防
止対策を徹底し、夏を乗り
切りましょう。
(高松)

広報広聴常任 委員会

委員長 橋本 維広
副委員長 高松 亮裕
委員 竹内 孝文
神田 修
上野 陽司